

## 校内研修の概要

山梨小学校

### 1 研究主題

英語を使って自ら人と関わろうとする児童の育成  
～英語好きな児童を育成する外国語科英語の指導の工夫～

### 2 研究主題について

本校は平成29年12月より、文部科学省の教育課程特例校の指定を受け、平成30年度・31年度は四街道市の英語教育推進モデル校となった。

外国語科英語の研究を始めて4年。これまでの積み重ねを基にして、更に英語好きな児童を育成すること、児童がコミュニケーションを楽しめることを研究の中心に据えた。

### 3 研究内容

#### (1) 研究仮説

仮説1 英語科授業の中で、児童が自ら会話するような指導過程を工夫すれば、意欲的に英語を使ったコミュニケーションが取れるようになるだろう。

仮説2 児童の日常生活に関連した英語環境を整えれば、英語を使おうとする意欲が向上し、コミュニケーションを図ろうとする態度が育つだろう。

#### (2) 研究の実践

##### 授業の型の共通理解

4月の休校中の時間を活用して「授業の型」を共通理解する為の研修を行った。異動してきた職員にも、イメージが湧きやすいように、模擬授業形式での研修をした。担任が主体的に進める授業、クラスルームイングリッシュの活用、児童に意識させたい4つのポイントなど全職員で共通理解した上で、再開後の授業準備を行うことができた。

##### 3年 何が好き？

本単元では、身の回りにある外来語を中心に、日本語と英語の音声に着目して、様々な活動を通して発音に慣れ親しんだり、それらを使ってコミュニケーションを図ったりすることをねらいとした。「What~do you like?」の表現に慣れ親しみ、好きな食べ物、スポーツ、動物、キャラクターをインタビューしたり「マグネットショップ」アクティビティをしたりして、楽しく好きなものを尋ねたり、伝え合ったりすることができた。

### 4 成果と課題 (○成果, △課題)

○児童の実態に合った活動、必然的な場面設定により、児童は英語に親しみ、意欲的に使うことができた。

△指導と評価の一体化。「ルーブリック」を用いた、一歩進んだ評価をすることが課題である。